

剣術競技大会 開催

古武術競技会報

第一回スタート

第一回古武術競技大会

古武術競技会組織委員会は3月21日、ウレタンの剣を使用した同会初めての剣術競技会「第一回古武術競技大会」(新浅香山校区連合自治会後援)を大阪府堺市の同校区地域会館で開催した。

金メダル目指し、白熱試合

古武術競技会組織委員会は3月21日、ウレタンの剣を使用した同会初めての剣術競技会「第一回古武術競技大会」(新浅香山校区連合自治会後援)を大阪府堺市の同校区地域会館で開催した。

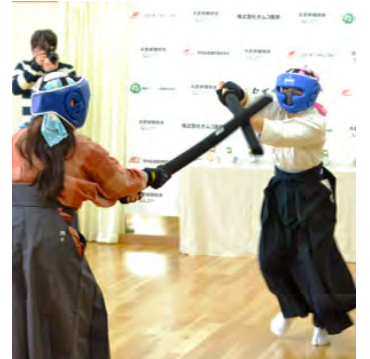
古武術競技会組織委員会は3月21日、ウレタンの剣を使用した同会初めての剣術競技会「第一回古武術競技大会」(新浅香山校区連合自治会後援)を大阪府堺市の同校区地域会館で開催した。

古武術競技会組織委員会は3月21日、ウレタンの剣を使用した同会初めての剣術競技会「第一回古武術競技大会」(新浅香山校区連合自治会後援)を大阪府堺市の同校区地域会館で開催した。



出場者募集!

詳細は上記QRコードからメールにてお問合せください



チャレンジ精神で新しい風

て、安全に配慮して開催された。試合は1試合3本制で、2本先取で勝利。1本の制限時間は2分で、時間切れは引き分けとなる。

各部くじ引きで試合順を確定し、午前中は成年女子の部に門弟から4名が出場した。第一試合は一般女子FRさん(一般女)と一般女子HAさん(一般女)。1本目はFRさんが速攻で一本を取ると、2本目はHAさんが胸へ一本返したが、3本目は再びFRさんが1本取り、決勝にコマを進めた。

FRさんは「春日会でなごなたを4年ほど稽古しているが、剣術は初めて。曰く大事にしているチャレンジ精神をもって臨むことができた。この経験を今後の稽古に活かしていきたい」と笑顔で抱負を語った。

この結果、1位NK君、2位FK君、3位UK君。幼稚園から剣術を習い現在6年生のNK君は勝因について「相手の攻撃を(うまく)さばけた」とを挙げ、今後は「もっとうまくなりたい」と次を見据えた。また、剣術については「おもしろい」と声を弾ませた。

成年の部は、第一試合は、共に剣術初心者UK君(公募参加)、以降(一般女)とMEさん(一般女)が対峙。数回の打ち合いなど接戦を繰り広げたが、2本連続でJCさんが1本とり、決勝へ。三位決定戦は、HAさんとMEさんが臨み、1本目HAさんが、2本目もHAさんが面に一本決め、3位を決めた。

決勝はUK君(公募)、NK君(少年)、FK君(少年)の総当たり戦。第一試合はUK君とNK君で、NK君の二段への攻めが2本決まる。第二試合はU君とFK君で、1本目をUK君が取るも、2本目と3本目はFK君。第三試合はNK君と

同競技会は、「子どもからシニアまでLet、Sチャンバラ」を掲げ、剣術経験者の曰く「稽古の技を実戦形式で発揮する場、未経験者の「今年は何か始めたい」との思いを実行に移す場として

午後からは、少年の部に次いで成年男子の部を開催した。それぞれ6名の参加により、一回戦三試合の各勝者3名が総当たり戦を行い、1位から3位を決定した。

第二試合はJCさん(一般女)とMEさん(一般女)が対峙。数回の打ち合いなど接戦を繰り広げたが、2本連続でJCさんが1本とり、決勝へ。三位決定戦は、HAさんとMEさんが臨み、1本目HAさんが、2本目もHAさんが面に一本決め、3位を決めた。

決勝はUK君(公募)、NK君(少年)、FK君(少年)の総当たり戦。第一試合はUK君とNK君で、NK君の二段への攻めが2本決まる。第二試合はU君とFK君で、1本目をUK君が取るも、2本目と3本目はFK君。第三試合はNK君と

決勝はUK君(公募)、NK君(少年)、FK君(少年)の総当たり戦。第一試合はUK君とNK君で、NK君の二段への攻めが2本決まる。第二試合はU君とFK君で、1本目をUK君が取るも、2本目と3本目はFK君。第三試合はNK君と

決勝はUK君(公募)、NK君(少年)、FK君(少年)の総当たり戦。第一試合はUK君とNK君で、NK君の二段への攻めが2本決まる。第二試合はU君とFK君で、1本目をUK君が取るも、2本目と3本目はFK君。第三試合はNK君と

未経験迫力ある試合楽しむ

決勝戦はFRさんとJCさん。1本目はFRさんの一撃が腰あたりに決まり、2本目もFRさんが取り、優勝を決めた。

決勝戦はFRさんとJCさん。1本目はFRさんの一撃が腰あたりに決まり、2本目もFRさんが取り、優勝を決めた。

決勝戦はFRさんとJCさん。1本目はFRさんの一撃が腰あたりに決まり、2本目もFRさんが取り、優勝を決めた。

決勝戦はFRさんとJCさん。1本目はFRさんの一撃が腰あたりに決まり、2本目もFRさんが取り、優勝を決めた。

決勝戦はFRさんとJCさん。1本目はFRさんの一撃が腰あたりに決まり、2本目もFRさんが取り、優勝を決めた。

決勝戦はFRさんとJCさん。1本目はFRさんの一撃が腰あたりに決まり、2本目もFRさんが取り、優勝を決めた。

剣術競技会を企画した古武術競技会組織委員会の上瀧泰史代表は競技会開催の目的と趣旨、今後の方向性について「古武道はさまざまな流派があるが、統一ルールで技を競うまたは披露する場がこれまでなかった。今回は、多くの方が古武術という競技の下に集える場を作ることを目的とし、その結果、さまざまな方に参加いただき、みなさまのおかげでその一歩を踏み出すことができた。今後は流派や経験にかかわらず、多くの方が古武術を楽しむ場をさらに作ると共に、古武道の発展に寄与していきたい」と思いを語った。

長年の思いカタチへ

古武術は、日本全国にさまざまな流派があり、それらは各々の型もあり、礼式もある。それは、武士の時代から受け継がれてきた伝統の技であり、いにしえからの教えである。それらが現代に受け継がれ、江戸期以前から、明治、大正、昭和、平成と続く時代の風習、習慣、風俗と相まり、多少の形を変えながらも、新時代と共存し、古武術は各流派で続いており、令和の新時代でも次世代を担う多くの子供たちが、学び、稽古に励んでいる。

ただ、平成、令和の時代になり、課題も浮き彫りになってきたのが実情だ。それは、それぞれの流派で稽古し、ある程度の段に昇格すると、それ以上を極めるための目的であり、次の目標が見えにくくなってしまっている。これは古武術がそれぞれの地域で独自の進化をとげてきた一方で、さらなる発展をさまたげる長年の課題でもあった。

その課題の一つが、流派ごとのつながりはあるものの、他流試合だけでなく、ゆるやかな交流を目的にした試合さえも、その実行には非常に大きな壁が存在するのが実情である。つまり、他武道では曰く「稽古で身につけた実技を披露する大会があるが、古武術には互いに技を競う共通の大会がこれまでなかった。そこで、古武術門弟がさらなる高みを目指す一助となるよう、長年の思いを

カタチとしたのが、今回開催した「古武術競技会」である。さまざまな流派が、一つのルールのもとで、曰く「稽古の成果を発揮する」とともに、切磋琢磨による互いの向上を図る。この競技会で勝ち抜くことも、新たな目標の一つとなる。そして、多くの方が古武術に触れる「きっかけづくり」にもなる。

実際、古武術を志す門弟は、他の武道に比べて多いとは言えない。しかし、この競技会を古武術界全体の発展に向けて継続していくことで、古武術を志す門弟の技術向上、同志拡大など、新たな発展の第一歩としていく。



ゼロから作る楽しさ、難しさ

初めての古武術競技会は、検討から実施まで、さまざまな課題が山積していた。重要課題が、流派の枠を超えた交流をいかにできるかにあった。この課題解決を前提に、これまで交流できる競技会の前例がないことで、どういうルー

ル、対戦形式にするか、勝敗は、参加者はどうするか、年齢別か男女別かなどさまざまな検討事項を一つ一つ、からまった糸を解きほぐすように、会議を重ねて決定していき、多くの方のご支援もいただけることになった。

このように、古武道発展への思いを同じくする多くの方々の支えもあって開催に至った。その開催に至る過程で、なにも前例がないゼロから作る楽しさを、多くの協力いただいた方々と享受することができた。



そして、競技会当日は、スタッフ、出場者が共に一つの目標に向かって、課題を残しつつも成功裡に終えることができた。

第一回古武術競技大会

は、これまでの結果報告にあるよう、成功裡に終え、第一回の優勝者が決定した。すべての試合で熱戦が繰り広げられ、勝者も敗者も曰く「稽古で得た武を存分に発揮し、他者と比較することで現在の実力を相対的に把握すること、次の目標が見えたものと推察する。」

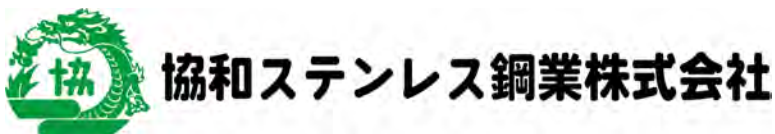
今後は、古武術競技会を第二回、第三回、第四回、それ以降と毎年積み重ねていくにつれ、出場者の地域も徐々に広がり、多くの老若男女が出場する大会になっていくことを

古武道から世界へ



願っている。さらに広域の大会、そして全国の流派から経験の年数を問わず出場者が集まる大きな大会となり、それは世界からも集まり、国を問わず、多くの方々が古武術を習うきっかけになれば、第一回の意味は非常に大きい。

この度は古武術競技大会にご協賛いただき、誠にありがとうございました。
私どもの活動にご理解ご協力いただいたご厚意にスタッフ一同、深く感謝いたします。



(掲載 五十音順 / 敬称略)